

事業者向け

児童発達支援事業自己評価表

領域/No.	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	95%	5%	0%	クラス分けにより、少人数スペースを広く活用し、落ち着いて活動できる。
	2 職員の配置数は適切であるか	95%	5%	0%	加配も含め充足している。
	3 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	95%	5%	0%	放課後デイと区別し、単純な動線工夫あり。今後は視覚表示の改善や配慮事項の工夫を研究していく。
	4 生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた環境となっているか。本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。	95%	5%	0%	児童にあった環境を考え小集団活動などを工夫し実践。毎日の衛生管理・安全管理も確実に行っている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	自主ミーティングやサポート会議、管理者の招集による打合せを全職員間で実践。
	6 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	95%	5%	0%	アンケート等の結果はお便りで公表。行政にも実績報告行う。改善要望等あれば、会議で検討し放置しない体制あり。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	79%	16%	5%	家族へはお便りにて公表。学校等関係機関向けのアンケート結果については、通知文書にて報告。併せて行政にも実績報告している。なお、今後はWEB上での公開も企画中。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	95%	5%	0%	毎年度実施している。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	十分に行っており、職員の資質向上につなげている。

事業者向け

児童発達支援事業自己評価表

領域/No.	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	丁寧なアセスメント作成を心がけ実践し、発達段階に応じた計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	89%	11%	0%	遠城寺式検査を統一実施。今後は、Vineland適応行動尺度やWISC検査の導入を研究中。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	89%	11%	0%	課題や個性、強みなどを領域別に見極め、該当領域については、個別支援計画にも明記している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	良好。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	79%	11%	11%	専従職員体制を敷き、児発管が中心となってプログラムの企画・立案・決定を行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	基本プログラムと個別課題などを組合せ、十分に取り組んでいる。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	十分に取り組んでおり、サポートチームで検討した内容を、ケアカンファレンスにて全体周知し対応している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	専従職員と児発管、サポート職員らを中心に、前日および療育終了後に実施している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	88%	0%	12%	専従職員と児発管、サポート職員らを中心に、前日および療育終了後に実施している。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	95%	5%	0%	サービス提供書を用いて、丁寧に対応している。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	95%	5%	0%	十分に対応している。	

事業者向け

児童発達支援事業自己評価表

領域/No.	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	十分に対応している。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	0%	必要に応じて、積極的に連携を図っている。
	23 (医療的ケアが必要な子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	95%	5%	0%	必要に応じて、積極的に連携を図っている。
	24 (医療的ケアが必要な子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	95%	5%	0%	体制を整備しており、医療ケアが必要な児童の主治医からは、看護情報の提供を書面で徴している。
	25 移行支援として、保育者や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%	十分に対応している。連携会議や訪問支援、校区連絡会議など
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%	十分に対応している。移行先職員の召喚や連携会議、訪問支援、校区連絡会議など
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	89%	5%	5%	行政や関係機関との協力および合同企画でのセミナー開催や交流、研修受け入れなど、十分に対応している。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	53%	5%	42%	幼年防火まつり参加や園外療育などで交流の機会は設定している。今後はさらに、法人内保育所との交流体験を検討・企画。
	29 (地域自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	42%	5%	53%	自主的に参加できるものではなく、登米市の要請により参加となるため、平成29年度は参加していない。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	登降園時や定期面談、その他必要に応じて、児童の状況や分析した課題について伝えている。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	100%	0%	0%	実施している。

事業者向け

児童発達支援事業自己評価表

領域/No.	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	32 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	十分に対応している。
	33 児童発達支援のガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	95%	5%	0%	十分に対応している。
	34 定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	95%	5%	0%	随時積極的に対応している。 必要に応じ、話しやすい環境設定にも気を配っている。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	0%	十分に対応している。 こじ豆・こじカフェ・バンビの会
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	児発管や管理者が中心的な窓口となり、誠意をもって対応している。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	十分に対応している。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	0%	遵守している。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	個別支援計画で配慮方法等を検討し、実践している。
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	89%	11%	0%	十分に取り組んでいる。 独居高齢者交流会・他事業所交流会・ボランティア受入・併設施設交流	

事業者向け

児童発達支援事業自己評価表

領域/No.	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	89%	5%	5%	十分に取り組んでいる。 感染症に対しては、ミニ研修やスタッフ会議で確認を行い、家族向けにはお便りで周知を図っている。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	十分に取り組んでいる。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100%	0%	0%	アセスメント、入園時健康診断、定期検診、健康調査などを用いて、丁寧に確認している。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	95%	5%	0%	看護情報提供書や通院記録等を家族に提出してもらい、医師の指示のもと対応する体制を整備している。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	95%	5%	0%	リスクマネジメント委員会や法人会議などで検証・共有し、対応している。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	虐待防止、合理的配慮、権利擁護、コンプライアンスなど、高い意識のもと研修の機会を確保し実践している。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	94%	0%	6%	身体拘束の事例がないため、「いいえ」回答が1名いた。今後も身体拘束は行わないが、万が一の場合は、緊急時に限り保護者同意を得て対応する。